

創立144周年

学校便り



進取

令和2年度 No.7

令和2年11月26日発行

阿久根市立阿久根小学校
25学級 児童数448名

便利な時代だからこそ

校長 秦 明夫

最近、車のドアをロックしようとしたところ、キーの電池が弱くなったせいか1回でロックできないことがありました。ドアの鍵穴にキーを差して、回してロックすればすむことなのにキーのボタンを押してロックする習慣が付いているので不便さを感じる自分でした。

ささいな出来事ですが、便利な時代に生きているとその便利さの一部が失われたり、できなくなってしまうと、とたん不便さや不自由さを感じてしまいます。しかし、子供たちにとって不便さや不自由さを体験することは大切なことだとの頃つくづく思います。何か知りたいと思ったらスマホで検索してみると容易に答えが得られますが、まず自分で考えたり、だれかに尋ねたり、本で調べたりしてみるのには価値があることです。時間はかかりますが、知識以上に探究心や根気強さが身に付くと思います。

学校の教育活動を行うに当たっては、これからの社会の担い手となる子供たちにパソコンやタブレットなど自在に扱えるような力も付けていかなければなりません。文部科学省は、「児童一人に一台のパソコン」を提唱している状況でもあります。一方、不便さを感じる体験をすることで自分たちの生活を見つめ直したり、よりよくするきっかけにすることもできると考えます。5年生が行う集団宿泊学習などはその最たる行事です。帰ればおやつがあり、テレビやゲームができる日常から、自然を相手に時間を意識しながら集団で行動する体験は、子供たちにとって価値あることです。いかに自分たちが便利な生活をしているか気付くきっかけになります。また、毎日の登校も車だと便利ですが、暑さ、寒さを膚で感じながら友達と語りながら歩くのも大切なことです。

一般人が宇宙旅行をする日もそう遠くないと言われる時代になりました。科学の進歩は、目を見張るばかりです。そんな便利な時代だからこそ大切な物を見失わないよう教育活動を行っていきたいと思います。

宿泊学習5年

5年生は、10月27日、28日の1泊2日で薩摩川内市立少年自然の家へ宿泊学習に行きました。この2日間で静と動のけじめ、5分前集合など時を守ることの大切さを学びました。家族と離れ日常とは違う不自由さを体感することで、いかに家族に支えられて生活しているかを改めて感じ取ることができたようです。また、自然体験活動としてアスレチックや焼き板作りなど友達と一緒に楽しい時間を過ごす事ができました。



【家庭学習の充実のために】

10月19日(木)～25日(水)は、家庭学習強調週間でした。お子さんの家庭学習の状況はいかがだったでしょうか。学校で学習した内容をしっかり定着させるためには、家庭学習での復習等が大切です。高学年では、次の日の予習をするなど中学校を意識した取組も必要となってきます。

しかしながら学校で今一番危惧しているのは、ゲームやスマホ、インターネット等への依存です。過度の利用が家庭学習だけでなく生活のリズムまで壊してしまう場合があります。特に刺激性の高いゲーム等は、子供の脳(心)の発達に悪影響を与えかねません。

もし、お子さんのゲームやネット等の利用時間が長い場合などは、ご家庭でも使い方について今一度話をされてみてください。